第4期熊本市中心市街地活性化基本計画について

資料２

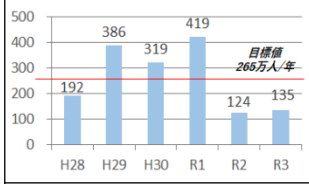
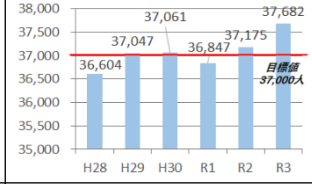
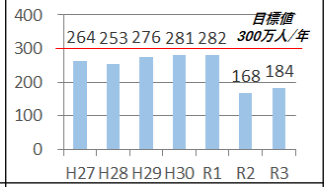
1. はじめに

中心市街地の役割
・本市の経済成長をけん引する役割
・活性化による経済効果は、県域、さらには九州全域へ波及

中心市街地の課題
・技術革新など、時代の変化への迅速かつ柔軟な対応
・まちなかのにぎわい創出と回遊性の向上
・まちなかの安全性の向上

第4期計画を策定

2. 第3期計画の総括

基本方針	にぎわいあふれる城下町	安心してずっと暮らしたいまち	誰もが訪れてみたくなるまち
指標・数値	熊本城公園の入込数、桜町・花畑周辺地区のイベント来場者数	中心市街地内の居住人口	熊本市内の宿泊客数
基準値	192万人/年（平成28年）	36,604人（平成28年）	264万人/年（平成27年）
目標値	265万人/年（令和4年）	37,000人（令和3年）	300万人/年（令和4年）
検証			
	135万人/年（令和3年）	37,682人（令和3年）	184万人/年（令和3年）
	・R1までは目標値を達成 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R2以降は大幅に減少 ・R4年は「全国都市緑化くまもとフェア」の開催により達成の見込み	・新型コロナウイルス感染拡大の影響が小さいことから、R4年も達成の見込み	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、R4年も未達成の見込み ・第4期計画においても、継続して指標に設定予定
主要事業	・熊本城復旧整備事業 ・桜町地区再開発事業 ・ｼﾝﾎﾞﾙﾌﾟﾛﾑﾅｰﾄﾞ等整備事業 ・熊本城周遊バス運行事業	・桜町地区再開発事業 ・企業立地（誘致）促進事業 ・街なか子育てひろば事業	・熊本城ホール整備事業 ・JR熊本駅ビル整備事業 ・熊本城マラソン事業 ・誘致戦略事業

3. 第4期計画の概要

【計画期間】　令和5年4月 ～ 令和10年3月 （ 5年間 ）

【事業数】　行政67事業、民間30事業（行政及び民間含む）　計97事業

【目指すまちの姿】　昼も夜も歩いて楽しめる、いつまでも魅力的なまち

【基本方針、目標、指標など】

基本方針	時代の変化に応えるまち	にぎわいあふれる城下まち	安全・安心に住み続けることができるまち
目標	時代の変化を見据えた魅力あるまちづくり	にぎわいの創出と回遊性の向上	安全で安心できるまちなかへの居住促進
指標	・桜町・花畑周辺地区に魅力があると感じる市民の割合 ・熊本駅周辺が魅力的であると感じる市民の割合	・中心市街地の歩行者通行量 ・熊本市内の宿泊客数	・中心市街地内の居住人口
数値 基準値	48.6%（令和3年）	・歩行者通行量 579,066人※（令和3年） ・宿泊客数 282万人/年（令和元年）	37,682人（令和3年）
数値 目標値	60.0%（令和9年）	・歩行者通行量 849,000人※（令和9年） ・宿泊客数 302万人/年（令和9年）	37,700人（令和9年）
想定される主な事業	・地域スタートアップ等支援事 ・熊本城特別公開関連事業 ・新モビリティサービス推進事業 ・自転車活用推進事業 ・おでかけICカード交付事業 ・EVバス運行事業	・ウォーカブル都市推進事業 ・町屋利活用モデル事業 ・夜間景観推進事業 ・グリーンスローモビリティ導入事業 ・ほこみち利活用促進事業 ・MICE誘致戦略事業 ・まちなかループバス運行事業	・中心市街地建替え促進事業 ・グリーンインフラ整備推進事業 ・良好な景観の形成に向けた事業 ・介護予防普及啓発イベント（まちなか元気くらぶ）

※歩行者通行量の数値については、中心市街地内の調査地点における平日・休日（2日間）の通行量の合計値

4. 今後のスケジュール

令和4年　9月　第3回定例会（計画素案たたき台の進捗状況報告）：今回
　　中心市街地活性化協議会、市民から意見公募（1回目）
　　10月　計画素案について市民から意見公募（2回目）
　　12月　第4回定例会（計画案報告）
令和5年　1月　計画認定申請
　　3月　計画認定